

事業所名 Kimi i r o Kid ' s 支援プログラム (参考様式) 作成日 令和7年 3月 31日

法人(事業所)理念	一人ひとりに深く関わり、寄り添い、個性が色づくお手伝いをします。							
支援方針	<p>事業所使命：自分のカラー＝Kimi i r o (キミイロ)を見つけてもらい、Calling (天職)に出会ってもらいきっかけをつくり、社会性を育みます。上記、使命を実現するため、以下の「5つのスキル」を身に付けてもらいたいと思います。</p> <p>①自分の意志や感情を表現する力(外コミュカ)：自己表現をするために、言葉や非言語のコミュニケーションスキルを身に付けてよう。</p> <p>②自身との肯定的対話をする力(内コミュカ)：自分自身に対して否定的な投げかけを抑え、いつも肯定的な対話をし、自信を高めよう。</p> <p>③協力と協調(コラボカ)：社会で活躍するためには、人との協力し、協調する力、ルールを守る力を身に付けよう。</p> <p>④相手の心の動きを理解する(エモカ)：良好な人間関係を気づくために、人の心の動きを理解しよう。</p> <p>⑤自己探求(クエストカ)効率的に能力の身に付けるために、自分の強み弱みを探求しよう。</p>							
営業時間	9時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>《来所時の確認ごと》</p> <p>事業所についたら一番最初に次の約束ごと「①れんらくちょうを出す ②にもつをかたづける ③であらいうがいをする ④ねつをはかる」を確認し、荷物を決められた場所に取め、冬場であれば上着をハンガーにかけるなどして生活習慣を身に付けるサポートをします。</p> <p>《始まりの会》</p> <p>児童発達支援、放課後等デイサービス共に、平日、休業日それぞれのスケジュールを毎回必ず確認し、生活のリズムの安定を支援します。</p>						
	運動・感覚	<p>《来所時の確認ごと》</p> <p>事業所についたら一番最初に次の約束ごと「①れんらくちょうを出す ②にもつをかたづける ③であらいうがいをする ④ねつをはかる」を確認し、荷物を決められた場所に取め、冬場であれば上着をハンガーにかけるなどして生活習慣を身に付けるサポートをします。</p> <p>《始まりの会》</p> <p>児童発達支援、放課後等デイサービス共に、平日、休業日それぞれのスケジュールを毎回必ず確認し、生活のリズムの安定を支援します。</p>						
	認知・行動	<p>《終わりの会・始まりの会》</p> <p>日付、天気の確認による感覚・教の認知形成、一日のスケジュールの確認による時間の認知形成</p> <p>《集団活動・休業日のプログラム》</p> <p>ジュスチャーゲーム、連想ゲーム、紙コップタワー積み立てゲーム、スライム作り、クッキング、季節の工作作り、季節を感じる遠足など様々なプログラムを通じて、感覚、小集団での行動形成、季節の変化への興味や感性の形成</p>						
	言語コミュニケーション	<p>《児童発達支援では運動療育・放課後等デイサービスでは集団活動》</p> <p>児童発達支援の運動療育では、タオルでつなひき、だるまさんがころんだ、トンネルをくぐろう、ボールをパスなどの様々なプログラムを通じて、また放課後等デイサービスの集団活動では、じゃんけんダッシュ!、名前を呼んでボールをパス、イラスト連想ゲームなどを通じて、他児との協力、応援などコミュニケーションを図る機会を増やします。</p> <p>《自由遊び・終わりの会》</p> <p>おもちゃの貸し借り、終わりの会では自分の思いをみんなの前で発表するなどして自己表現できるように支援します。</p>						
	人間関係社会性	<p>《児童発達支援では運動療育・放課後等デイサービスでは集団活動》</p> <p>児童発達支援の運動療育では、タオルでつなひき、だるまさんがころんだ、トンネルをくぐろう、ボールをパスなどの様々なプログラムを通じて、また放課後等デイサービスの集団活動では、じゃんけんダッシュ!、名前を呼んでボールをパス、イラスト連想ゲームなどを通じて、他児との協力、応援などコミュニケーションを図る機会があり、相手を思う気持ちを養います。</p> <p>《自由遊び・終わりの会》</p> <p>おもちゃの貸し借りでも相手の気持ちを尊重する心、終わりの会では静かにみんなの発表を聞くなどして、人間関係・社会性を身に付ける支援をします。</p>						
家族支援	子どもの発達や支援に関する情報を提供し、必要に応じて専門家の意見や助言を行います。また、ご家族が十分に休めるように配慮したリフレッシュ支援や親が子どもの発達や障害に関して感じる不安やストレスに対して心理的なサポートを行います。また、必要に応じて、様々な専門家と連携してご家族をサポートいたします。	移行支援			<p>子どもが学校生活から社会生活への移行をスムーズに行えることを目指し、コミュニケーション・社会性の向上を目的とした活動を行います。(例) 集団生活でのルール作り、他の子どもたちと一緒に生活する場面で、ルールやマナーを守る大切さを学びます。共通のルールを守りながら、集団生活の中の自己表現や他者との調和を学ぶことができます。</p>			
地域支援・地域連携	利用者及び保護者がKimi i r o Kid ' s以外の場所でも自分らしく過ごせるよう、相談支援事業所、他事業所、幼稚園、保育園、学校と状況を共有しています。	職員の質の向上			<p>日々、前日の支援プログラムの振り返りと当日の支援プログラムについて意見交換をします。反省だけではなく、チャレンジたいことも職員みんなで承認し、サポートする環境となっています。半期に一度の定期面談により、メンタルヘルスケアおよび課題のフィードバック、目標の設定と到達度の確認などを実施しています。その他、専門知識や資格取得のための費用を会社が負担し、成長しやすい環境を提供しています。また、義務化されている感染症対策、人権擁護の研修で福祉業界における知識を身につけております。</p>			
主な行事等	1月：お正月 2月：節分 3月：ひな祭り 4月：さくら 5月：こどもの日 9月：お月見 10月：ハロウィン 12月：クリスマス その他、季節を感じる遠足、料理などを実施しています。							